記入例　　　　　　　　**事　故　報　告　記　入　例**

|  |  |
| --- | --- |
| 事故者氏名 | 　埼玉　花子　　　　　　　　　　　　　　 （手帳　身障１級　） |
| 援護市町村 | 川口市 |
| 年齢・性別等 | 昭和４９年　６月　７日生　４０歳（女）　 （障害支援区分　６） |
| 事故発生日時 | 平成２５年　４月　５日　午前１０時２０分頃 |
| 事故発生場所 | ○○○の郷　浴室 |
| 事故の種別 | 介護事故による右上腕部骨折 |
| 事故の概要 | １　概要（事故の概要を２行以内にまとめる）　　埼玉さんを入浴ストレッチャーに乗せようとした際、バランスを崩して床にずり落ち、右上腕部を骨折した。２　事故の原因　　埼玉さんを４人の介護職員で入浴用ストレッチャーに乗せようとしたが、頭に重心がかかりすぎたことに気づいた職員Ａが持ち場を離れて越谷さんの肩を押さえようとした。　　このため、全体のバランスが崩れ、埼玉さんがストレッチャーからずり落ちて右腕を強打した。３　事業所の対応（Ｐ４「危機発生時の対応」参照）　　看護師の指示により、１０時４５分に協力医療機関である高砂病院に搬送。レントゲンの結果、右上腕部骨折と診断される。午後２時現在、埼玉さんは自室で休養している。　　保護者には、１０時４０分に介護事故により病院に搬送する旨を電話連絡、午後１時３０分に電話連絡した上で、施設長他１名で自宅を訪問し、詳細を説明した。　　保護者（兄）は、埼玉さんのケガに納得のいかない様子であったが、本人の状況を詳しくお話しし、施設として再発防止に努めること、治療費については全額保険でまかなうことなど、丁寧に説明した結果、御理解をいただいた。　　関係機関：川口市役所障害福祉課、医療機関（高砂病院）　　報道対応：なし４　再発防止策（Ｐ５「危機収拾後の対応」参照）　　４月６日、緊急事故防止委員会を開催し、別添のとおり事故の発生原因と具体的な再発防止策について検討した。　　４月７日、緊急職員会議を開催、緊急防止委員会で検討した内容について職員に周知徹底した。 |